

社会・国際奉仕委員会

活動方針

- 社会・国際奉仕委員会では、2026－27年度金田ガバナーの「連携と連帯で、持続可能なインパクトを生み出そう」のテーマに沿って、「連携・連帯」を重視し、効果的な一体感のある活動を通してその効果が波及効果を生むような活動を展開して参ります。
また、委員会の活動目標として、
 - ① グローバル補助金。地区補助金の積極的活用促進のための諸策
 - ② 地域のニーズをとらえた奉仕活動の奨励
 - ③ 社会・国際奉仕セミナーの開催の3点が金田ガバナーより示されております。

- 社会奉仕と国際奉仕について
社会奉仕と国際奉仕は、ロータリーインターナショナルの掲げる5大奉仕部門のひとつです。
「社会奉仕」とは、地域社会の課題を解決し、人々の生活の質を向上させるための活動です。
「国際奉仕」とは、世界中の人々との理解と親善を深め、国境を越えて社会課題の解決に取り組む活動のことです。

- 社会奉仕委員会
 - ・「持続可能なインパクトを生み出す」事業を通して、地域社会に直接貢献する活動立案のための研修と支援
 - ・クラブの奉仕活動の情報収集

- 国際奉仕委員会
 - ・「持続可能なインパクトを生み出す」事業を通して、国境を越えて人々や社会に貢献し、世界の平和と相互理解を深めるための活動立案のための研修と支援
 - ・支援先情報の収集と精査

上記の方針を踏まえて、他の委員会との共通目標を共有して効果的な一体感のある活動を行います。

また、次年度、次々年度に繋がるような持続性のある事業展開を目指します。

活動計画

- 「世界ポリオデー 駅ジャック」をポリオ根絶運動の一環として、ロータリー財団委員会と連携して実施致します。
- 委員会セミナーの実施
2026年8月2日（日）に「ユラックス熱海」にてロータリー財団委員会との合同開催の予定。
- クラブ奉仕活動状況調査について
2025－2026年度に実施した「クラブ奉仕活動状況調査アンケート」を基に今後の活動の検討をする。